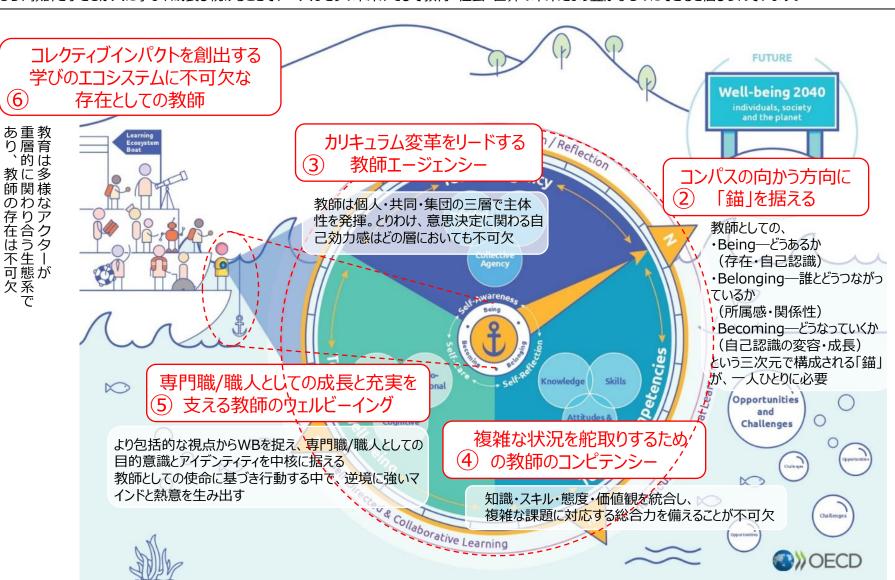
## OECDティーチング・コンパス(教師の羅針盤)~カリキュラム変革の担い手としての教師を再構想する~

## 「ティーチング・コンパス Iとは?

- ・「教えること、そして教師であることの意味」を未来に向けて再構想する総合的なビジョンです。ラーニング・コンパスが描く「予測不能な未来を生きる、未来を創る子どもたち」を導く教師 もまた「未来を共に創造する当事者 |であるという認識のもと、生徒のエージェンシー・コンピテンシー・ウェルビーイングを育むための方向性を、下図の 6 項目で示しています。
- ・「ティーチング・コンパス」は、世界的な研究成果及びOECDにおける国際的な協働・対話・共創によって策定されました。各国の共通認識として、教師が目的意識と専門性に誇りを もち、教師と子どもが共に学び、成長し続けることで、一人ひとりの未来、そして教育・社会・世界の未来をより豊かなものにできると信じられています。



・歴史の! ・二項対-知立公 恵を至せた。 現え人 に全や が望む を置くとしている。 学論に 来を現実にする 子びの統合が必要にする未来のためには、